キャラクター名	プレイヤー名
モータ	

種族	ウィークリング	種族特徴	弱点(魔法+2)、暗視、剛力		
生まれ	傭兵	性別	♂	年齢	17歳
冒険者Lv	4	経歴	旅をしたことがない		
経験点	1910		田舎で育った		
			同胞に家族を傷つけられた		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	9	器用度	6	1		16	2
		敏捷度	9			18	3
体	9	筋力	10			19	3
		生命力	7	3		19	3
心	5	知力	6	1		12	2
		精神力	12	1		18	3

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	4		
スカウト	3		
エンハンサー	1		

戦闘特技			
防具習熟A/金属鎧	IB31 p		p
なぎ払い	IB38 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
マッスルベアー	

名誉アイテム	点数
地位：仲間	20
名誉点 所持 47	/合計 67

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	4	6	7	7
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ブリガンティ		18	-1	7
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1
回避技能	ファイター		合計値	6	8

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
グレートアックス	2H	18		2d+ 6	11	7	33										
スリング 射程30m	1H投	2		2d+ 6	11	7	12										
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□□○□
保存食（1週間分）	○□□□○□
スカウト用ツール	○□□□○□
	○□□□○□
宗匠の腕輪	○□□□○□
俊足の指輪	○□□□○□

アウェイクポーションx2	○□□□○□
	○□□□○□
	○□□□○□
	○□□□○□
	○□□□○□

所持金	預金・借金
1634 G	G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	18 m	54 m

回避	防護点	HP
2d+ 6	8	31

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/×	2d+ 6

生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 7	2d+ 7	18

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中	
右手	金額、残数計算は所持品にて
腰	
足	
その他	

装備品	説明
左手	金額、残数計算は所持品にて

その他メモ

生まれは一般ミノタウロスウィークリング。当然のように虐げられ当然のように奴隷のように扱われた。それでも生まれてすぐに殺されなかった理由は簡単で、彼の生まれた集落はミノタウロスとしてはかなり裕福な暮らしをしている集落だった。なんの役に立ちそうにもないモヤシでも養えるだけの余裕があったのだ。なので、肉盾ぐらいにはなるだろうという気持ちで生存を許された。雑用としてこき使われて、親兄弟の食い残しと泥水を与えられて育ったのだ。

それでも彼は幸運な方で、いざとなれば家族を死んでも守れ。真っ先に死ねと教え込まれながらも戦闘訓練を受けることができた。なんだかんだと戦う力を得たし、彼は教え込まれた通りに家族を大切に思い、一生懸命に働いたし、訓練した。

その生活に転機が訪れたのは、ある飢饉の年だった。略奪で生計を立てるミノタウロスだが、略奪するものがなければ彼らも飢える。なので、仲間内でも奪い合った。それが部族全体を巻き込み始めるまでそうかからずと。

モータは教えられた通りに家族のために戦おうとして、たった一発で伸されてしまった。所詮ウィークリングだったし、3日ほど何も食べてなかったのもあった。あまりにあっけなかったために止めも刺されずに放置されて、次に目覚めた時にはもう部落は壊滅していた。ミノタウロスはアホなので全員死ぬまで戦いあったのだ。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟